

## 第7回 町田市廃棄物最終処分場閉鎖等検討委員会作業部会の議事要旨（案）

開催日時：平成20年8月12日(火) 19:00～21:30

開催場所：町田市リサイクル文化センター調理室

参加者：（委員）梶山 正三[委員長]、小川 由一[副委員長]、関口 鉄夫[作業部会長]、  
広瀬 立成、渋谷 謙三、木野 直美、塩路 正太、小林 美知  
（事務局）鈴木 和夫、加藤 貴一、田後 真人、内山 重雄、河西 秀悟、  
加藤 保、黒須 桂子、菊池 賢治、斉藤 泰久、日高 正人、  
田中 利和、末廣多恵子（敬称略）  
（傍聴者）4名

主な議事内容を以下に示す。

（1） 第6回検討委員会、第6回作業部会の議事要旨の確認について

事務局より説明を行い、概ね了承された。ただし、以下の点の説明記述の修正を行う。

- ・含有量試験について、土壤汚染対策法による含有量試験と底質調査法による全含有量試験の試験方法の違いが分かるように記述を修正する。

（2） 最終覆土の材料確保のための処分場内での仮置きに関する住民説明結果

住民説明の結果について、事務局より説明を行なった。以下に主な意見を示す。

- ① 資料の記述について、転圧後よりも作業中のほこりが問題であるという意見があった。作業中についても水撒き等で対応することで了承を得た。
- ② 今後の運営管理は、住民との協定の方法等について①説明会や協定を結ぶ対象地域等や、②協定書（案）をもとに議論していくことが必要であるという意見があった。

（3） 最終覆土等計画について

事務局より計画(案)の内容について説明を行った。以下の修正・追加検討事項について、次回の検討委員会までに資料を修正することとなった。

① 排水溝について

- ・土砂等の除去や水質の管理等を行うスペースの確保は、流れが変わる箇所に1m角のマスをおくことにより、雨水があふれることを防止し、サンプルを採取できるようにする計画であることを説明し了承を得た。
- ・近年の豪雨傾向を考慮した雨量で設計を行うべきではないかという意見に対して、事務局から現在の設計基準から採用した雨量は100mm/h程度であり、豪雨傾向に対しても妥当な値となっていることを説明した。
- ・水路が土砂等によりつまる可能性があるため、蓋をしたほうが良いのではないかという意見があり、機能の優先等を踏まえ、検討することになった。

② 調整池の容量について

- ・公共用水域への許容放流量を考慮して、調整池の必要容量を確認し、調整池の改修(底にコンクリート張り)の形状を検討することとなった。
- ・浚渫した土砂は1800m<sup>3</sup>と量が多く、ダイオキシンも含んでいるため、天日乾燥で脱水する方法では問題があるのではないかとの意見があり、処理方法については今後詳細に議論

していくこととなった。

③ 施工手順について

- ・施工手順を説明した資料としてブロックフローを作成することとなった。

④ 資料について

- ・検討委員会の資料は、覆土工事に限定した議論ができるように配慮することとし、跡地利用についての記述は行わない。

(4) 各種調査結果（速報）について

事務局より今年度の各種調査結果（速報）、最終処分場の重金属量の試算（概算）について説明した。

- ・各種調査結果（速報）については、各自持ち帰ってデータを確認し、次回検討委員会（9月2日）、作業部会（9月19日）で議論を行うこととなった。
- ・最終処分場の重金属量の試算（概算）については、様々なファクターが入っているため、一概には言えないという意見があった。

(5) 今後のスケジュール

- ① 第7回検討委員会；2008年9月2日(火)19:00開催
- ② 第8回作業部会；2008年9月19日(金)18:00開催

以上